

荻野吟子記念館

ここ、吟子の誕生地には
熊谷の俳人金子兜太の句
「荻野吟子の生命とありぬ冬の利根」があります

荻野吟子の生涯

日本ではじめての女性医師



2019年3月 映画「一粒の麦」の製作発表会がありました。
日本初の女性医師・荻野吟子を描く山田火砂子監督は、87歳とは思えない情熱の方！

Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

荻野吟子記念館

荻野吟子は、現在の埼玉県熊谷市の生まれです。幼き頃より両親が兄たちより頭が良いと感嘆した位に聡明な女の子でした。吟子の生まれた明治時代は男尊女卑の時代です。吟子は女に学問はいらぬと隣村の名主の家に嫁がされてしまいました。さらに、夫から性病をうつされ子供が産めぬ体になってしまいますが、嫁ぎ先からは神経病だと実家に帰されます。最初は泣いた吟子でしたが、こんな無情なことはないと立ち上がり、自分と同じ運命で泣いている女性のためにも医者になると決意します。当時の日本には女性に医者への認可をあたえる制度はなく、男子の学校に通い苦勞に苦勞を重ねて、吟子は日本で初めての女医になりました。吟子の後を追いかけた吉岡彌生なども東京女子医科大学を作り、女子の医学界への道なりを作りました。その先輩である吟子は、男性社会の中で道なき道を進み、女性の地位向上に生きた人です。彼女は、自分を甘やかさず命をかけて生きる、この愛に勝るものはなし、と目の前で社会に虐げられた人々や障がいを持って生まれた人々のために、生涯を捧げました。今、私たちはこの時代にこそ、この荻野吟子をみなさまに知っていただきたく、映画「荻野吟子の生涯」を製作いたします。

熊谷市俵瀬

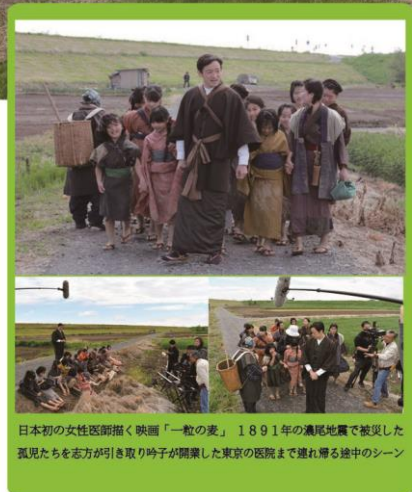
熊谷市俵瀬は、吟子の生故郷。

俳優・山本耕史さん、荻野吟子の生誕地でロケ

日本初の女医の映画、熊谷などで撮影 地元児童も出演。
日本初の女医荻野吟子（1851～1913年）の半生を描く映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」（山田火砂子監督）の撮影が、4月から県内などで行われている。27日には吟子が生まれた熊谷市俵瀬でロケがあり、地元の子どもたちもエキストラとして出演。郷土の偉人への理解を深め、映画の完成に期待を寄せた。映画は、男尊女卑の時代に公許女医第1号となった吟子の生き様から、不屈の精神や深い愛情を感じてもらおうと企画された。吟子役は若村麻由美さん、伴侶でキリスト教伝道師の志方之善役は山本耕史さんが演じる。14日にクランクインした。熊谷市俵瀬で撮影されたのは、1891年の濃尾地震で被災した孤児たちを志方が引き取り、吟子が開業した東京の医院まで連れ帰る途中のシーン。

吟子のふるさと俵瀬

中条堤を過ぎ、福川を渡れば、
ここは、荻野吟子の誕生地
熊谷市俵瀬



日本初の女性医師を描く映画「一粒の麦」 1891年の濃尾地震で被災した孤児たちを志方が引き取り吟子が開業した東京の医院まで連れ帰る途中のシーン

Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

光恩寺長屋門

埼玉県熊谷市出身の日本女医第一号の荻野吟子女史の映画化にともない、山田火砂子監督が吟子女史生家の長屋門が移築されている群馬県千代田町を訪問されました。熊谷市の利根川を挟んだ対岸の群馬県千代田町は今日も両地域住民の親戚関係も多く、昔から繋がり強い地域です。吟子女史生家長屋門が移築されている光恩寺を訪問し、高橋千代田町長や長柄住職から説明を受け、懇談をしました。その後、太田市の常磐学園にて吟子女史直筆の手紙などを所蔵されている常見理事長から、山田監督とご一緒に様々な資料をもとにお話をうかがいました。現在この資料の読解が進められており、この映画制作にあたっては新しい吟子女史の人間像が反映されることになりそうです。今後主演女優の決定をへて、来春から撮影が行われる予定です。すでに山田監督は熊谷市の荻野吟子記念館を訪問され、熊谷市内の撮影も予定されていますので、撮影に向けて皆様のご支援、ご協力をお願いいたします！！

(この時の様子は上毛新聞 2018.12.07 に掲載されました)



Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

赤岩の渡舟

千代田町に生家の長屋門が移築されている日本初の女性医師、荻野吟子（1851～1913 年）を描く映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」（山田火砂子監督）の撮影が 20 日、千代田町の利根川左岸の赤岩渡船場で行われた。渡船場下流には荒縄で結んだ撮影用の船着き場が設けられた。吟子役の若村麻由美さん、吟子の生涯の友、松本萩江役の賀来千香子さんや母親役、磯村みどりさんが現場入りすると、エキストラ出演の町民らの歓声が上がった。吟子が花嫁姿で高瀬舟に乗って嫁ぐシーンではエキストラ役から「きれい」「かわいい」と声が掛けられた。船頭役で出演した椎名英雄さん（72）＝伊勢崎市＝は「昔ながらの竹ざおで舟を操れるということで出演することになった。朝 7 時に着き、準備は万端」と撮影に取り組んだ。利根川のシーンに続き、一行は 21 日に長屋門のある光恩寺でも撮影を予定している。



Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

歓喜院本坊本殿

妻沼には国宝「歓喜院聖天堂」をはじめ多くの文化財や建築物があり、時代を超えて継承されてきた歴史や独特の文化があります。そうした妻沼の歴史の中で、依瀬の地に生まれた「荻野吟子」が放ち続ける光はとても大きい存在です。彼女の人生が利根川を前にした妻沼の地から始まり、その時代の苦難に奔放され続け、それでも 決してあきらめずに「日本初の女医」となりました。このことは熊谷 の誇りとして広く語り続けていくことでしょう。若き吟子を経験した利根の冬。寒冷な冬の利根川と吟子の熱き生命が密着に関わり合う。冬には赤城山からの寒冷な「赤城おろし」が 吹き付ける。夏は豪雨なよる洪水にさいなまれる「水場の地」であつ たこと。このような自然の特徴が吟子の生命と強い精神力を育てたのでしょう。冬を乗り越え、春になると熊谷の依瀬の土手沿いには無数の菜の花が咲きます。対岸を眺めると群馬の春めいた風景があります。赤城おろしが止み春の彩りを感じる、利根の恵みです。

歓喜院本坊本堂

妻沼聖天山歓喜院本坊（本堂）の切妻屋根破風に「鳳凰」、正面梁上に「双龍」がいます
一説では鳳は風、龍は雲と雷を象徴し、また、龍は天子、鳳は后を表すそうです

日本初の女性医師を描く
映画「一粒の麦」
妻沼聖天山でロケ



Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

井田記念館

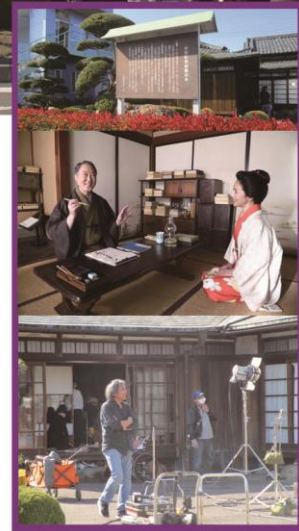
あの、メヌマポマードでお馴染みの井田友平氏の井田記念

時は明治。学校を首席卒業し医師になる為の力も充分ありながら「女性」という理由だけで、医術開業試験(医師国家試験)を受けさせて貰えなかった吟子は、14 年間の闘いの末、ついに日本初の女性医師として認められた。吟子の信念を貫く情熱、困難に打ち克つ強さは、令和を生きる女性をも励ましてくれる。今日は熊谷市出身の日本女医 1 号荻野吟子女史の映画化に取り組まれている山田火砂子監督が上田埼玉県知事、富岡熊谷市長を表敬訪問されました。山田監督のお話では、出身地の熊谷市での撮影を多く行うお考えがあり、すでにかかなりの構想をお持ちのご様子でした。今後もしっかりと撮影のご協力をさせて頂きながら、全国の皆様に吟子女史の業績をお伝えできるように取り組んでまいります。

井田記念館

あのメヌマポマードの創始者でお馴染みの
井田友平氏の井田記念館にやってきました

日本初の女性医師を描く
映画「一粒の麦」
ロケシーン。



Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

坂田医院旧診療所



坂田医院旧診療所は
昭和初期に開業した産科
内科医院の診療棟
モダンスタイルでまとめられた
洋館がうれしい。



日本初の女性医師を描く
映画「一粒の麦」
ロケシーン
吟子が女性として初の医師に
なると決意したきっかけは、
結婚して淋病に倒れ、
女性の医師がいなくて
辛い思いをした為。

Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

坂田医院旧診療所

昭和初期のモダンスタイル建物の「坂田医院旧診療所」

坂田医院旧診療所は、昭和 6 年に建てられた産科・内科医院で、昭和 50 年代前半まで使用されていました。流行を取り入れた建物内部は、昭和初期のモダンスタイルでまとめられた近代化を象徴する建物として、地方近代建築の貴重な遺構を残す建物として 7 年前の平成 16 年 7 月 23 日に登録有形文化財に登録されました。

映画やCM、ドラマなど 20 作品以上のロケが入りました。「とんび」(市川美佐子が出産した病院の内部)・「南極大陸」(横峰奈緒美が運ばれた産婦人科)・映画「孤高のメス」・映画「ゲゲゲの女房」など。そして平成 31 年 4 月に映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」(山田火砂子監督)のロケです。吟子が女性として初の医師になると決意したきっかけは、結婚して淋病に倒れ、女性の医師がいなくて辛い思いをした為。当時は男性医師に診察される事を拒んで手遅れになる女性もいたそう。

滝乃川学院

時は、大正 2 年の『石井亮一・筆子記念館』へ

『石井亮一・筆子記念館』は 1928 (昭和 3) 年に竣工された昭和初期を代表する教育建造物で、本学園の研究活動の中心として使用されていました。廊下、階段の造り、採光等、障害者への配慮がなされた建物となっています。木造のモダンな近代建築で、左右対称の平面を持ち、当時 1 階には教室 (学園利用者用、付属保母養成所用) を、2 階には講堂等を備えていました。立面は、アーチ付きの玄関ポーチを中心に広がる水平線を強調したデザインで、整然と配された窓と相まって明快で軽やかな印象を与えますが、講堂上部のドーマーと赤い屋根がポイントとなって全体を引き締めています。

時は、大正 2 年ヘタイムスリップし、吟子誕生地の熊谷市妻沼、葛和田の地元の皆みなさんが、この 2 階の講堂で「荻野吟子の講演」を拝聴しました。吟子最晩年 62 歳。女医会の講演で「男尊女卑の世の中、病に苦しむ女性を救う為、多くの女性医師が増える事を期待する」と、後輩達に語るシーンが印象的。



昭和 3 年竣工の昭和初期を代表する教育建造物
木造のモダンな近代建築で
アーチ付きの玄関ポーチを中心に広がる
水平線を強調したデザインで軽やかな
印象を与えます。

滝乃川学園
石井亮一・筆子記念館



時は、大正 2 年「荻野吟子の講演会」男尊女卑の世の中、病に苦しむ女性を救う為、多くの女性医師が増える事を期待する」と、後輩達に語るシーンが印象的。



苦痛の聲で男医して
受けたが、優しい
差別の優しい毎日と
なる。

Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.

瀬棚

三本杉岩が勇気を与えてくれた荻野吟子

北海道久遠郡せたな町、日本海に面するその海岸沿いには、三本杉岩と呼ばれる美しい三つの岩が浮かんでいます。明治 30 年(1897)、荻野吟子はこの小さな漁村に医院を開業しました。地域医療が行き届かなかった当時、多くの人々の心と体を癒す拠り所となったのである。吟子は、理想郷を夢見て開拓を始めた夫、之善の後を追って北海道へ渡った。しかし、夫の病死という失意を経験したのもこの地であった。彼女は夫の死という悲しみの中で、三本岩になにを語りかけていたのでしょうか。彼女胸に懷き続けた「人そのその友のために己の命を捨てる、これより大いなる愛はなし」という聖句の一節が思い起こされます。映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」を締めくくるせたなロケ。同町瀬棚区のシンボル・三本杉岩を望む海岸で行われた撮影は、夫を亡くして落ち込む荻野が、再び医師として働く決意を固める場面。北前船舶主に「三本杉岩が勇気を与えてくれた」と励まされ、吟子は「1 人の老いた医師として、命のある限りやり通したいと思います」と答えた。



Copyright (C) 2019 oginoginko All Rights Reserved.



荻野医院開業 時は明治。学校を首席卒業し医師になる為の力も充分ながら「女性」という理由だけで、医術試験(医師国家試験)を受けさせて貰えなかった吟子は、14年間の闘いの末、ついに日本初の女性医師として認められた。吟子の信念を強く信じた、困難に打ち勝つ強さは、令和を生きる女性をも励ましてくれるエキストラ強から「きれい」「かわいい」と声が聞かれた。 2019.04.23



女性にも医師試験(国家試験)を受けさせて欲しい。と内閣省に直談判のシーン。

菊村喜一郎は荻野吟子の最初の結婚相手。吟子が病氣にかり、実家での療養を余儀なくされたのです。そして、明治3年協議離婚となりました。喜一郎は、その後も吟子への援助を続けたといわれています。



映画「一粒の麦 荻野吟子の生涯」は5月8日にオールアップしました。荻野吟子は医師を目指してから約14年もかかって女性として初めて国から受験が許され、医師の資格を取得。写真館で記念撮影をしたとか、凡そ135年前の事です。荻野吟子といえば、その時のドレス姿の肖像写真が有名ですが、私が着用させて頂いた撮影用のドレスは、吟子の樹土埼玉の女性が吟子への想いを込めて作成したそうです。今後は展示されるとか...? とこに?

